

重点戦略（案）について

未来像

具体的な未来像

検討ユニット及び重点戦略

地域主権時代のモデル都市へ京都発、京都流へ

**誰もがすべてのライフステージを楽しめるまちに**  
 ～子ども、若者、お年寄りに笑顔、安心、生きがい、夢を～

- 子どもの笑顔と安心な暮らしを地域力が支える
- 若者がいきいきと京都で学び、京都で働く
- 互いに教えあい、学びあい、人生を楽しむ

**助け合う地域、見守る社会、住み続けたい京都**  
 ～これまでの資源を活かした市民主体による京都ならではの風を感じるコミュニティづくり～

**京都らしさを生かした環境先進都市になる**  
 ～環境を基軸に新たな京都型の生活・産業・観光・交通スタイルの開発～

- まちのどこにも市民、観光客で賑わう、市民にとって誇れる魅力に溢れる
- 公共交通が便利で、散歩や自転車が似合う
- 地球環境への危機感を市民が共有し、立ち向かう

**京都の強みを生かして都市の活力を高める**  
 ～ひと・もの・情報呼び込み、経済を活性化させる～

- 交流の場を広げ発展し続ける都市

**Dユニット**  
**『U24サポーターズクラブによる人と人とのつながり・支えあい』**

- ・ U24（0歳～24歳）の子ども（大学院生まで）を核とし、ライフステージに応じて、多世代をつなぐ京都らしい横断的な戦略を展開する
- ・ U24への参加・関わりを通じて、“京都に関わるすべての人たち”が京都を知り、学び、得た情報を発信していくことで、京都にさらなる愛着・関心を持つとともに、それを次世代に引き継いでいける仕組みをつくる
- ・ この仕組みにより、一人ひとりが京都市民として活躍する居場所・役割を持ち、互いに育てあい、支えあい、認め合うことが当たり前になされる魅力あふれるまちを目指す

**Cユニット**  
**『広がる共助、変わる公助 ～ジリキ(地力、自力)が育てる心地いい京都流コミュニティ～』**

- ・ 地域コミュニティをはじめ共助が持つ様々な役割、可能性を重視し、
- ・ 豊かな共助・地域力（＝京都力）を京都の最大の資源・強みの一つと考え、
- ・ 共助をサポートするため行政のあり方を見直す
- ・ その際、地域力を産み出してきた背景にある京都ならではの様々な土壌を意識し、
- ・ あらゆる行政分野、施策において、京都力を高めるという視点を持ち、支援体制を充実させる

**Bユニット**  
**『京スタイル したはる？』**

- ・ 京都市が抱える「環境」、「観光」、「交通」の課題への融合的な対応
- ・ 市民や来訪者が、自らのライフスタイルを見つめ直し、ライフスタイルを転換することを通じて課題解決を達成
- ・ さらに、魅力的な暮らし方「京（きょうと）スタイル」が市民に定着し、世界に発信するまち京都を創造する

**Aユニット**  
**『人々が交流し、創造する都市の形成による京都市の活性化』**

- ・ 京都ブランド（都市の魅力）を高め、
- ・ 京都力（地域資源）を活用し、
- ・ 人々の交流を通じて創造性溢れる「都市」の形成を図り、新たなイノベーション（新産業）を創出し、
- ・ 付加価値の高いものづくりやサービスにより京都の活性化を目指す